

## 「市民参加の裾野拡大部会」の進め方(案)

### ○ 議論の内容

- ・ 市政総合アンケート(R1実施), パブコメ, 過去のフォーラムの成果物(ヒアリング, アンケート, 分析結果等)の分析
- ・ 若者の市政参加の推進について
- ・ 各区でのまちづくり活動の調査・分析

### ○ 令和3年度の議論の中で, 決めていく部分

- ・ 具体的な施策の取組内容
  - (例)- 大学生を対象としたワークショップ及びアンケートの実施
    - 大学生が社会的課題に取り組んでいる事例を分析し, 優れた取組を庁内や大学側に周知して実践例を拡大
    - 各区役所へのヒアリング調査の実施

# ○ 議論の進め方

令和3年

令和4年



参加部会の希望確認・方向性について

市政総合アンケート, パブコメ, 過去のフォーラムの  
成果物をもとに分析

「若者の市政参加の推進」  
大学生を対象とした  
ワークショップ,  
アンケート等の  
具体的な実施内容の検討

WS等  
取組の実施  
(10~  
11月頃)

WS・  
アンケート  
結果の  
確認, 分析

各区役所へのヒアリング調査の実施

結果の分析

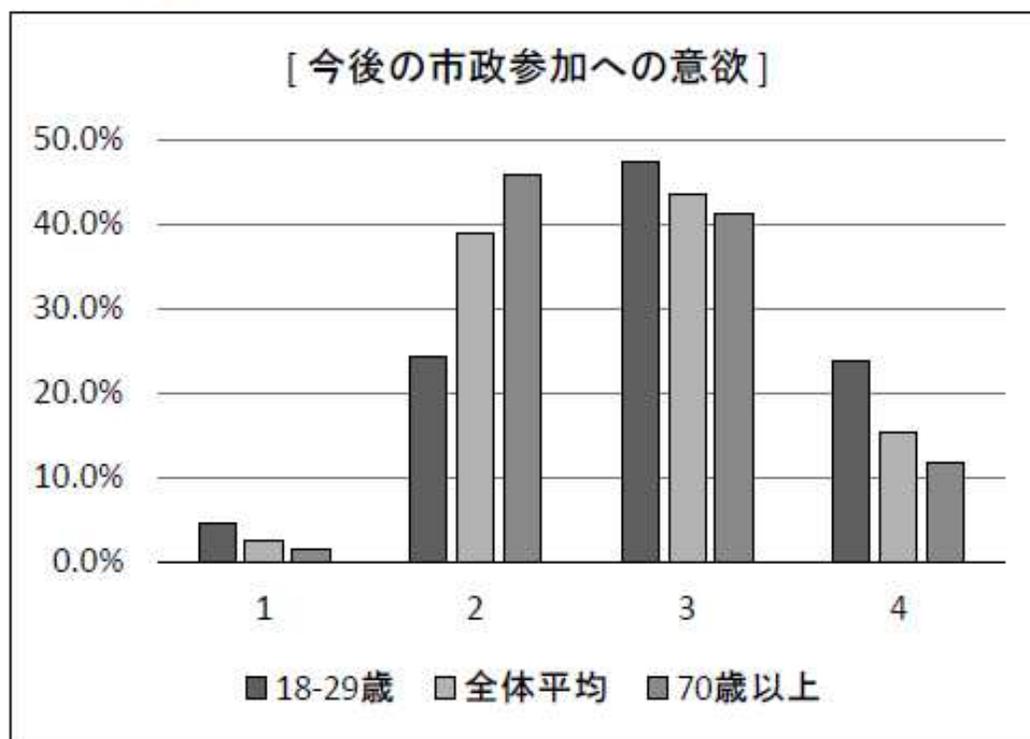
今年度の取りまとめ

## 【参考】令和元年度第2回市政総合アンケートの結果概要(抜粋)

(市政に関連して何らかの課題を感じた際に、)今後の「市政参加制度」に参加したいか

1	ぜひ参加したい	2	4%
2	可能であれば参加したい	38	8%
3	あまり参加したいと思わない	43	6%
4	参加したくない	15	2%

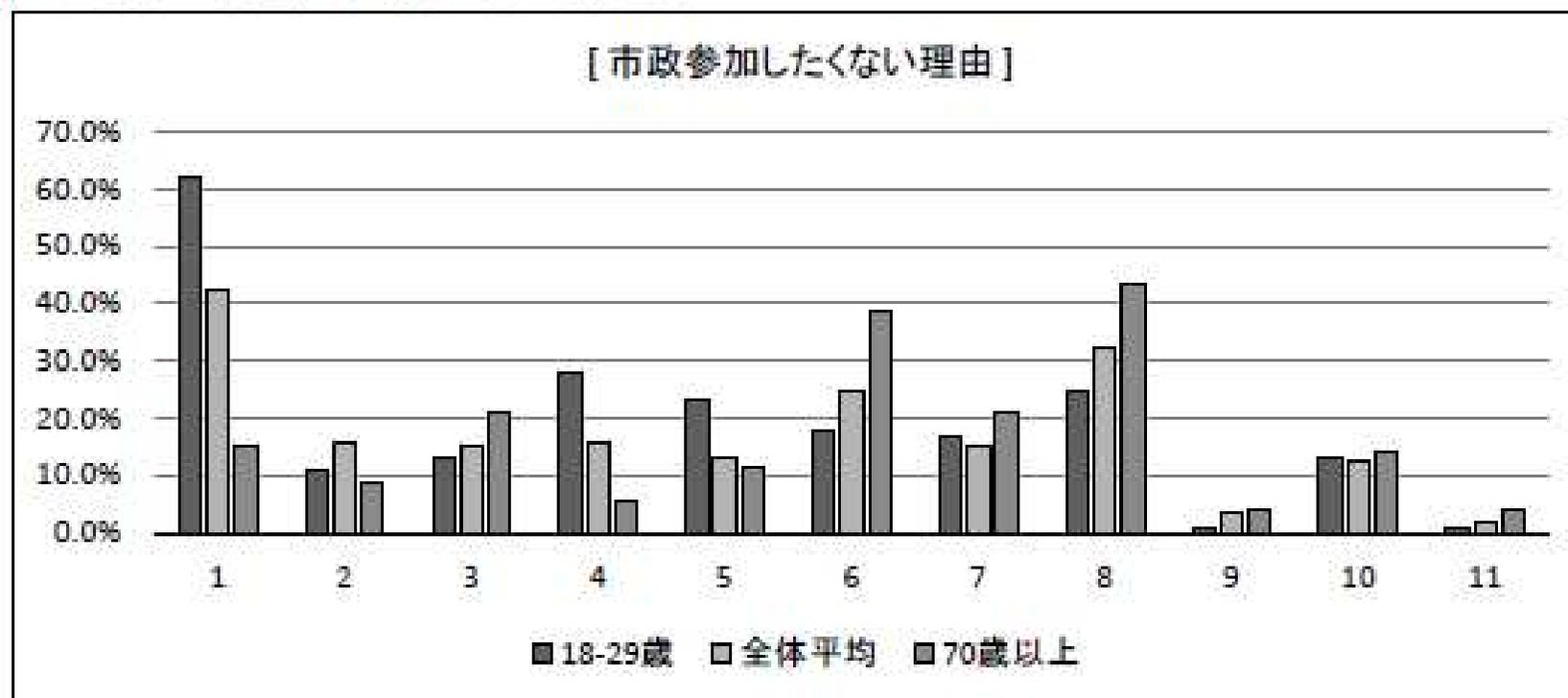
[18-29歳] vs [全体平均] vs [70歳以上]



「市政参加制度」に参加したくない理由(3つまで回答) (回答総数:939)

1	参加する時間がないから	42	2%
2	参加する時間が合わないから	15	8%
3	一緒に参加する仲間がいないから	15	0%
4	市政に興味がないから	15	6%
5	テーマに興味・関心がないから	13	3%
6	精神的、肉体的に負担がかかるから	24	6%
7	課題やテーマの内容が難しいから	15	4%
8	参加しても市政に反映される実感がわからないから	32	4%
9	議会があるから市民が直接市政に関わる必要はないから	3	5%
10	特に理由はない	12	7%
11	その他	2	0%

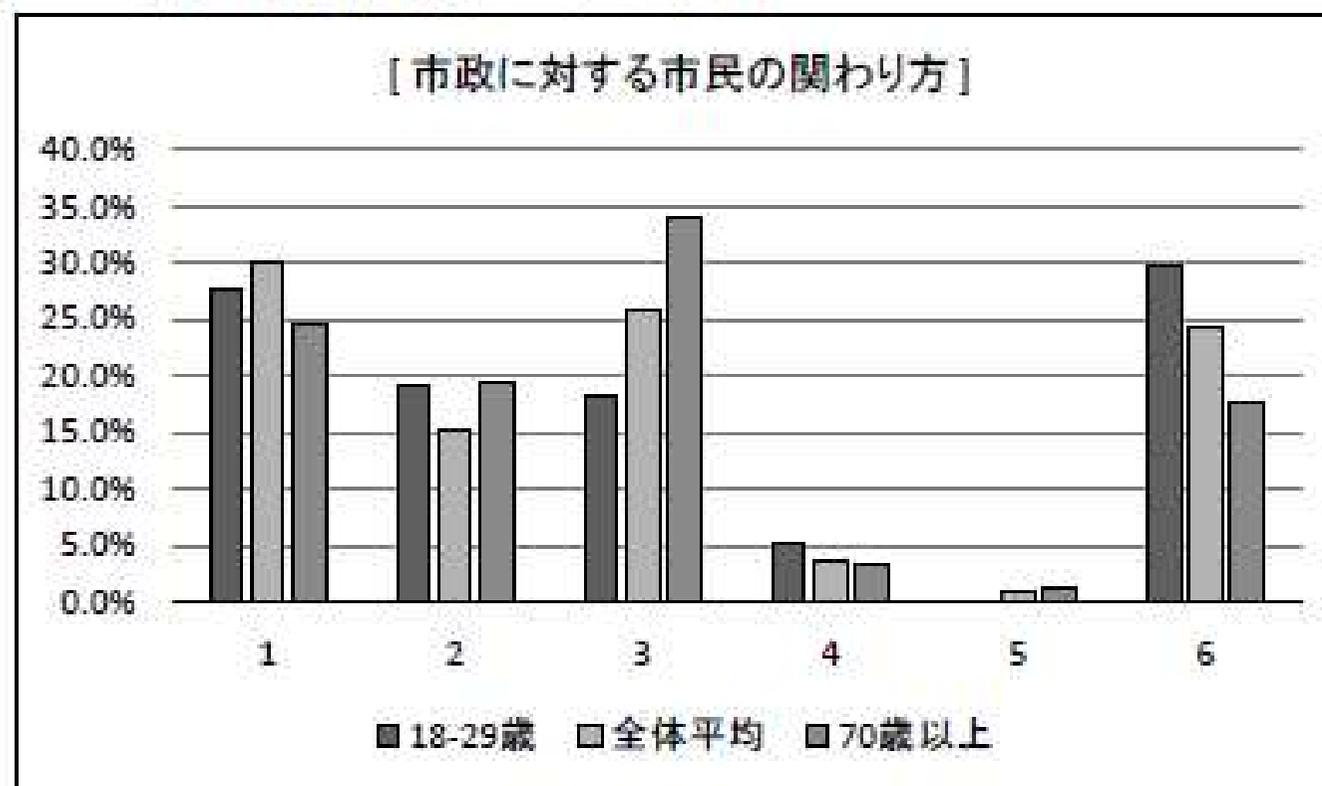
[18-29歳] vs [全体平均] vs [70歳以上]



市政に対する市民の関わり方は、どのような形がよいと思うか(回答数:1,000)

1	直接、意見や考えを提案したり、協働したりする方がよい	30	0%
2	市民の代表として選ばれた議員を通じて意見を反映させる方がよい	15	1%
3	町内会や自治会の役員、様々な地域活動団体等の代表者を通じて意見を反映させる方がよい	25	9%
4	市政は行政に任せておけばよい	3	7%
5	その他	0	9%
6	よくわからない	24	4%

[18-29歳] vs [全体平均] vs [70歳以上]



市民が参加しやすくなるために京都市がすべきこと(3つまで回答) (回答数:1,000, 回答総数:2,500)

- |   |                                     |    |    |
|---|-------------------------------------|----|----|
| 1 | 市政に関する情報をわかりやすく発信する                 | 56 | 7% |
| 2 | 市政参加したい市民同士の交流の場を提供する               | 13 | 9% |
| 3 | 市政参加の取組の結果や施策・事業への反映をしっかりと伝える       | 31 | 4% |
| 4 | 政策づくり、計画策定など市政の様々な段階でより多くの参加の機会をつくる | 14 | 2% |
| 5 | 市民に身近な課題についての市政への参加の機会を充実させる        | 28 | 3% |
| 6 | 社会全体の課題や全市的な課題についての参加機会を充実させる       | 10 | 7% |
| 7 | 子ども、大学生等若い世代の方が参加できる機会を充実させる        | 24 | 2% |
| 8 | 市政への参加の仕組みのユニバーサルデザイン化を進める          | 5  | 7% |
| 9 | 参加しやすい時間や場所に設定する                    | 30 | 9% |

\*参加しやすい時間帯

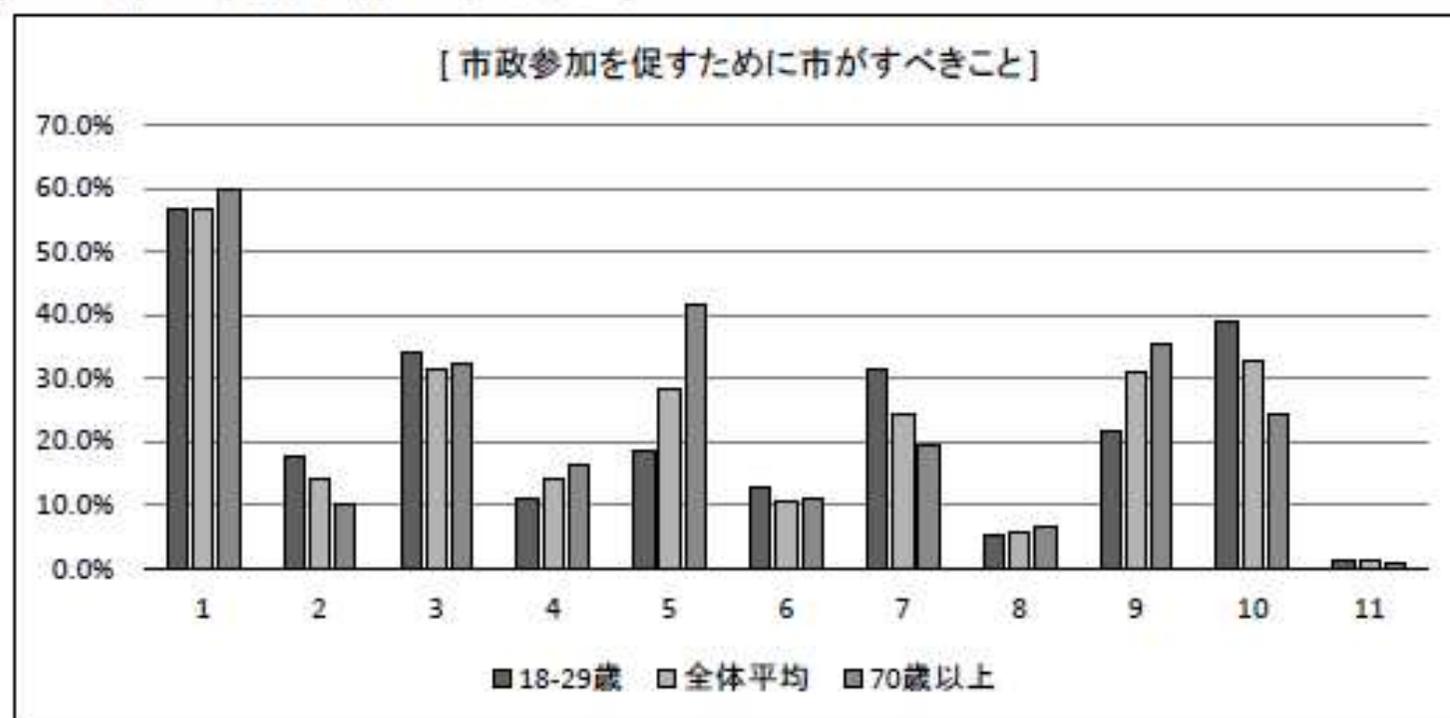
平日 (A 午前中/B 午後/C 夕方/D 夜間) … 23, 0% / 27, 2% / 15, 2% / 31, 7%

休日 (土日曜, 祝日) (E 午前中/F 午後/G 夕方/H 夜間)

…………… 38, 2% / 36, 9% / 13, 9% / 12, 6%

- |    |  |    |    |
|----|--|----|----|
| 10 | インターネット, SNSなどを活用して, 意見や提案ができる機会を充実させる | 32 | 6% |
| 11 | その他                                    | 1  | 4% |

[18-29歳] vs [全体平均] vs [70歳以上]



## 【参考】平成30年度団体ヒアリングの結果概要（抜粋）

# 「市政参加を進めるアイデア」

### (1) ユースサービス協会 (2) グローカルセンターへヒアリング

	主な内容
(1)	<ul style="list-style-type: none"><li>・市政に関して関心が無いわけではない。そうしたことを安心して話せる場がないと言っている。</li><li>・若者同士、若者と大人が対話できる場を設けるにはどうすればよいかという点から、「ユースカウンシル」という若者による協議体づくりに取り組んでいる。</li><li>・準備会での若者との話合いでは、まちの課題が多く出ている。バスや観光の問題、高校生からは学校を超えた交流の場がほしいといった声など、自分ごとになっている問題について関心が高い。</li><li>・若者の市政参加を進めるための枠組みを、若者と一緒に考えるのが大事で、そういうことを考える場に若者を集める努力が必要である。</li></ul>
(2)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ポップで楽しくて、おしゃれなしつらえがあれば、参加する学生もいるかもしれない。意識していなくても、いつの間にか参加しているという形もある。 (例：大学ゼミとのコラボによるポップなイベント、餅つき大会と言って防災訓練、グローバルセンターとの連携 など)</li><li>・市の「新しい文化政策」のアイデアコンテストを受けて、学生でプロジェクトが進んでいる。市政参加の意識はないが政策提言という方向に向かっている。</li><li>・社会に出るとき、多くの若者は大企業志向で他の選択肢を知らない。丁寧に学生と接する中で、企業や市政など自分の興味の方向性が出てきて、その先に市政参加があると思う。</li></ul>